



▶熱戦を繰り広げる参加者

よい思い出ができました!

新和中学校体育大会に地域住民が参加

5月11日、新和町の新和中学校（生徒数61人）で体育大会が開催されました。今年は、体育大会を盛り上げようと地域住民が参加できるプログラムを初めて計画。「玉入れ競技」に40人が参加し、熱い戦いを繰り広げていました。参加者は、「中学校の体育大会に参加するのは卒業後はじめて。よい思い出ができました」と話していました。

大きくなあれ!!

御所浦保育所サツマイモの苗植え



▲サツマイモの苗を植える子どもたち

御所浦保育所の園児45人が6月8日、同保育所にある子ども菜園で「サツマイモの苗植え」を行いました。自分たちの手で育てて食べることの大切さや植物の成長するようすを知ってもらおうと毎年行っているもので、今年で7回目。園児たちは、「大きくなあれ」と声をそろえて、苗をていねいに植えていました。今後は10月に収穫、11月に焼き芋会が行われる予定です。

夏がやって来た!

四郎ヶ浜ビーチ海開き



▲砂遊びを楽しむ子どもたち

6月4日、有明町の四郎ヶ浜ビーチで海開きが行われました。シーズン中の海の安全と盛況を願って、同ビーチ管理組合の役員など約20人が出席して神事を実施。その後、待ちかねた地元の子もたちが海へ飛び込み、浮き輪に乗ったり、砂浜に穴を掘ったり、元気に初泳ぎを楽しんでいました。同ビーチでは、7月17日㊤に“さざ波フェスタ2016”が行われます。詳細は25ページに掲載。

初夏の夕暮れに地域の交流を楽しむ

栖本コミセン祭り



▲花の種を付けた風船を飛ばす参加者

5月28日、栖本地区コミュニティセンターで「栖本コミセン祭り」が行われました。栖本地区振興会主催で地域の交流を目的に実施しているもので、今年で3回目。花の種を付けた風船飛ばしのほか、読み聞かせなどを実施。また、同センター横を流れる河内川沿いに竹灯ろうを置き、川沿いを散歩する“よみち散策”や地元有志によるバザーも行われ、参加者は地域の交流を楽しんでいました。

“お互いさま”と“おかげさま”を大切に

河浦地区公民館全体講座 健康講演会

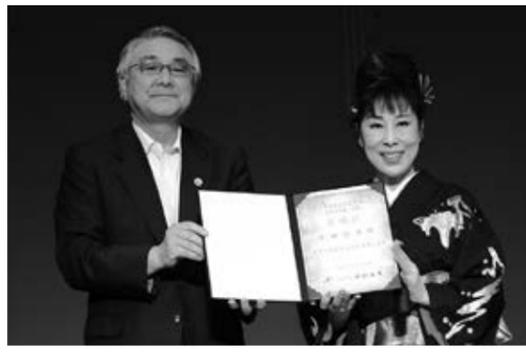


▲講座のようす

6月11日、元気な地域づくり「お互いさまを大切に暮らす」と題した講座が、一町田地区コミュニティセンターで開かれ、地元住民73人が参加しました。河浦地区公民館が開催したもので、九州AST気功クリニックの三浦佑子氏が講演。共に支え合う関係で気分良く暮らすためには、「お互いさま」と「おかげさま」の関係を大切に」などと話され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

天草の良さを全国に伝えていきたい

原田悠里さんに天草宝島親善大使を委嘱



◀委嘱状を手にする原田さん

本市出身の演歌歌手、原田悠里さんが天草の魅力在全国にPRする「天草宝島親善大使」に就任しました。親善大使は天草にゆかりがあり、文化や芸術、スポーツなどで幅広く活躍している人が対象で、原田さんが4人目。6月4日に天草市民センターであったデビュー35周年記念チャリティーコンサートで中村市長から委嘱状が手渡されました。原田さんは「全国に天草の良さを伝えていきたい」と話していました。

水難事故防止・無病息災を願って

水天宮まつり



▲「茅の輪」をくぐる参加者

6月5日、天草町高浜の八坂神社で水天宮まつりが開催されました。このまつりは地元の中向区なかもぎの住民が河川や海水浴場での水難事故防止や無病息災を願い、約180年以上前から毎年この時期に行っているもの。まつりでは、神前でおはらいを受けた人たちが、3回くぐると災いから免れるといわれる地元住民がかやで作った、直径約1.3mの「茅の輪」をくぐり、心身を清めていました。

絵本とおなじお弁当作ったよ

久玉しろやま文庫 読み聞かせ会



▲お弁当を作った子どもたち

6月5日、久玉地区コミュニティセンターで、地域ボランティア団体「久玉しろやま文庫（会員15人）」による、読み聞かせ会が行われました。同会は月に1回行われており、今回は地域の子も11人が参加しました。「ちびころおにぎり」などの絵本の読み聞かせを行った後、絵本に出てきたお弁当を作りました。子どもたちは、「じょうずにできました」と話していました。